

東日本大震災復興支援プロジェクト

第12回活動報告



アポなしの訪問にも関わらず、野菜の苗を通して新たな交流が生まれます。

今

年度2回目となった第12回活動は、初参加4名を含む職員9名が宮城県東松島市で実施しました。

今回は、昨年6月の第1回目から取り組んできた野菜の苗を被災者のお宅に届ける活動が中心です。2班に分かれ、交流のあるお宅を中心に巡回しました。

有志で作られたという地区の集会所からは、敷地に畑を作ってほしいと頼まれ、急遽現地で鍬などを借り入れ、参加者全員で作業しました。この集会所は被災した地区住民の交流スペースとして利用されるらしく、炊き出しイベントなどでも今後も協力していくこととなりました。

1年間継続して訪問してきたこの地区では、JA鶴岡の知名度が非常に高まっており、どのお宅でも好意的に接していただけます。

『心の復興にはまだ時間がかかりそうです』という意味のメールを翌日現地の方からいただきました。

まだしばらく、支援活動を続けていく必要を感じます。苗などを届けながらも、一番現地に届けたいものは「私たちはあなたたちのことを忘れていない」というメッセージです。

『活動の概要』

【活動日】平成24年5月19日（土）

【活動地】宮城県東松島市

【参加者】鈴木大亮（総合戦略室）、伊藤千花子（企画総務課）、佐藤浩市（経理システム課）、眞田綾音（人事課）、五十嵐浩紀（米穀畜産課）、前田資生（園芸特産課）、渡部洋子（園芸特産課）、石塚睦月（園芸特産課）、福原英喜（農業支援室）計9人。（他に山形大学から学生2名が参加）

【主な活動内容】野菜苗等の提供、植え付け、畑整備、傾聴活動、フィールドワーク（現地視察）



半年前にがれき掃除をした墓地はきれいに復旧していました。



近所から鍬などを借りて畑仕事に取り組みました。



きゅうりやナス、ピーマンなどを定植しました。



初対面の方とも会話が弾み、次回も遊びに来る約束をしました。

次回活動のご案内を参加登録者の皆さんにメールで送付しています。いつか行ってみたいという方は、参加者登録をお願いします。鈴木（総合戦略室）までお気軽にどうぞ。